

# くるじお

鹿部町立鹿部中学校

在籍生徒数88名

学校通信 第12号

1A 27名 ひまわり4名

電話 7-3114

2A 26名 ひまわり2名

令和8年3月23日発行

3A 35名 ひまわり2名

## 《重点教育目標》

「主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力」の育成  
スローガン 「一歩前へ」 ～ 考 動・共 生・創 造 ～

一年間の御協力に心より感謝申し上げます

## 校長 坂 本 学

3月13日に挙行了した卒業証書授与式。

厳かな雰囲気の中にも温かな拍手が響き渡り、式場全体が感謝と祝福の思いに包まれる、心に残るひとときとなりました。

卒業生が見せる一つ一つの所作には、三年間を過ごした鹿部中学校での確かな学びへの誇りと、これから始まる高校生活等への自覚や決意が感じられました。卒業証書を受け取る眼差し、仲間と声を合わせ奏でた合唱、座っている背中の後輩に語りかける態度…。それらのどれもが、三年間の成長を物語っており、凛とした中にも力強さを感じられる式となりました。卒業生が残した足跡は、日々の授業や学校行事、生徒会活動や部活動等、さまざまな場面に刻まれております。それは目に見える成果だけではなく仲間を思いやる心や最後までやり遂げる姿勢として、確かな残り姿となって、後輩たちの心に受け継がれていくことでしょう。先輩の背中から学んだことを礎に在校生もまた新たな伝統を築いていくものと確信しております。

以下に、卒業証書授与式で卒業生へ送った式辞の一部を紹介いたします。

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。思い起こせば、皆さんは体育大会や見学旅行、日々の授業を通して仲間と協力して課題を乗り越える力やお互いを尊重しながら行動するという「考動・共生・創造」の文化を着実に築き上げてきました。

呼吸器感染症により延期を余儀なくされた海嶺祭でも困難を自分たちの力で支え合い、大成功へと導いた団結力は素晴らしいものでした。とりわけ、「三年生の姿はかくあるべきだ。」を体現した学年合唱で奏でた美しいハーモニーと真剣な眼差しは「中学生の可能性は想像を超えるものだ」と改めて学ばせてもらいました。

映画俳優チャールズ・チャップリンは「空を見あげて！下を見ていたら、虹を見つけることはできない。」という言葉を残しています。



私は雨上がりの空に架かる七色の虹が好きです。辛い時、困った時にはこの言葉を思い出し「いい天気の日ばかりではない。雨の日もある。雨があがれば虹を見ることができるかもしれない。」と。

虹を見るためには雨は必要不可欠です。雨は「試練」、虹は「夢や目標」。これからの人生で出会う困難に下を向いたままでないでください。

下を向いたままでは、夢や目標という虹を見つけることはできません。どうか、どんな困難も夢や目標に向かうための試練だと前向きに捉え、挑戦することを恐れずに歩んでください。

皆さんには、それぞれの個性を生かした三十五通りの虹を描き、豊かで幸福な人生を送ってくださることを祈ります。



本日、修了式・離任式を執り行いました。令和七年度の教育活動の推進にあたり、保護者・地域の皆様には、深い御理解と御協力を賜り、無事に一年を終えることができました。心より感謝申し上げます。

離任式では、四人の先生方との別れとなりました。この別れに戸惑いや寂しさを隠せず、春からの新たな環境に不安を抱く生徒もいることでしょう。別れは確かに悲しいものですが、決して終わりではなく、新たな歩みの始まりでもあります。本校を去られる先生方から教えていただいた多くのことは、これからの学校生活の中で必ず生かされていきます。それらを自らの成長として実らせていくことこそが、何よりの恩返しになると考えます。

### 別れに感謝し、出会いに希望を抱く

節目となるこの別れを、惜しんでばかりではなく、成長の機会と受け止められるよう、御家庭においてもお話しいただきますようお願い申し上げます。

明日から学年末・学年始休業となります。気温上昇に伴い、交通量が増えることが予想されますので、御家庭で交通安全についてお声がけいただきますようお願いいたします。

## 見事！北海道知事賞入選受賞

「第40回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」に全道96校の1,929点の応募作品がありました。その中から本校1年生の亀本雫さんの作品が北海道知事賞入選(25作品)に選ばれました。これからも、私たちの暮らしがより豊かで明るい生活ができる住みよい社会をつくるためにも「税」についての関心をもち、理解を深めていってほしいと思います。



## 転出職員紹介

この3月31日をもって、鹿部中学校を転出される先生方を紹介します。

教頭 佐野 崇茂(函館市立本通中学校へ)

わずか1年8カ月という短い期間ではありましたが、この鹿部中学校に勤務できたことを大変うれしく思っております。生徒の皆さんの素直な心、明るく元気な姿、そして地域の皆様の温かさに支えられ、充実した日々を過ごすことができました。これまでの温かいご指導とご厚情に、心より感謝申し上げます。函館の地でも新たな気持ちで職務に励んでまいります。本当にありがとうございました。

教諭 志村 竜也(函館市立巴中学校へ)

鹿部中学校では5年間お世話になりました。鹿部中学校は少人数ながらとてもアットホームな学校で、一人一人との関わりはとても強く濃く「教員になってよかったなあ」と思える瞬間のたくさんある充実した5年間でした。ありがとうございました。

教諭 黒川 達朗(北斗市立大野中学校へ 教頭昇任)

この鹿部中学校で、とても充実した6年間を過ごさせていただきました。元気で明るい生徒との授業のやりとりや、部活動での生き生きとした表情、学校行事に真剣に取り組む姿など、思い返すと、いつも私の方が元気をもらっていたように感じます。保護者の方々、地域の方々にもたくさんのご理解・ご協力をいただき、本当に感謝しています。新しい場所でも、鹿部中の皆さんのことを応援しています。本当にありがとうございました。

養護教諭 佐藤 春菜(北斗市立浜分小学校へ)

可能性無限大な生徒の皆さんと過ごす日々は、あっという間でした。生徒の皆さんに会うため、毎朝学校に来るのがとても楽しみでした。保健室で子ども達の成長や笑顔に出会えた日々は、私にとってかけがえない大切な宝物です。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## Changes for the Better賞

3月6日から第51回天皇杯車いすバスケットボール大会が行われました。2年連続北海道の代表としてハダズが出場。チームに所属している八木橋琉空さん(2年生)が、チームの初戦突破に貢献！残念ながら2回戦で試合には敗退しましたが、個人賞として「Changes for the Better賞」をいただきました。「成長・挑戦・変化」が際立った選手に与えられる賞です。今後も更なる高みを求めて活躍することを期待します。

## 自己成長の記録発表会

3月11日(水)の3年生が中学校生活を振り返る「自己成長の記録」と題して発表会を行いました。中学校での学習や生活における自らの体験や学んだことなど、一人一人が思いを込めた発表をしました。皆さんにとっての人生はまだまだ長く続きます。卒業しても常に成長を目指し続けてほしいと思います。



## 第79回卒業証書授与式

3月13日(金)第79回卒業証書授与式が行われました。今年度は35名の卒業生が鹿部中学校を巣立つこととなりました。厳かな雰囲気の中、これまでの学校生活を振り返りながら、新たな門出を祝う温かな式となりました。在校生や教職員、保護者の皆様に見守られ、卒業生は感謝の気持ちと未来への希望を胸に巣立って行きました。今後のさらなる活躍を心から願っています。卒業おめでとうございます。

